

# 希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 30 年 1 月 17 日発行

第 32 号

編集発行 鈴木史良

## “好気～楽笑” のスキー教室

— 3つのめあてを達成できた喜び —

毎年恒例の本校「スキー教室」。今年も2泊3日の日程で、リヒテンシュタインにほど近いザンクトガレン州のヴァレン湖を見下ろすフルムサーベルグのスキー場でおこないました。

1月9日(火)の朝、13人の子どもたちと引率教師7名が大きな荷物を抱えてウスター駅に集合しました。多くの保護者に見送られた子どもたちは、出発式を終えて電車に乗り込みました。今年は乗り換えをよりスムーズにするため、プフェフィコン経由のルートでウンターテルツェン駅に到着しました。ここからゴンドラに乗り換え、終点のタンネンボーデン(標高1400m)に到着しました。天候がよく、屏風のようにそびえ立つヒンテルルグやガムズベルグなど、標高2300m以上の岩峰がよく見えました。まるで息

をのむような美しい景色でした。

子どもたちは、3日間滞在するホテル&レストラン「カビネンバーン」に入りました。スキーや靴をレンタルする子どもたちもスムーズに手続きを終え、全員で持参した弁当をレストラン内で食べ終わると、いよいよ1日目の講習が始まりました。コーチは昨年と同じアンドレアスさんとゲリーさん。昨年参加した子どもたちのことを覚えてくれていました。スキー初級者で編成された1班は、アンドレアスコーチに連れられ、Tバーリフトで上がっていきました。初心者で編成された2班は、ゲリーコーチに連れられ、ベルトコンベアで上がる練習場に向かいました。ここでスキーの履き方を教わり、ストックなしで雪の上を歩く練習から始めました。

今年は3日間ともよい天候に恵まれました。好天のもと、コーチについてしっかり練習できたせいか、子どもたちが例年以上の速さで上達しているように感じました。初めてスキーを履いた子どもたちも、2日目にはコツをつかんだようで、夢中になって滑っていました。初日に苦労していた小学1年生に尋ねると、「ぼくもやればできるんだ!」と力強い言葉が返ってきたほどです。

そして迎えた最終日。早朝から風に雪が舞い、回転競技が実施できるかどうか危ぶまれた昨年に比べ、今年は絶好のコンディション。全員でゲレンデD1へ移動し、赤と青のポールの間で置かれた回転競技コースに臨みました。子どもたちにとっては、これまで練習した成果を発揮する場です。子どもたちは元気よく、気持ちよさそうにポールの間を上手に滑走していました。自信のなさや怖さもあつたと思いますが、それらにうち勝ち、見事な練習の成果を披露してくれたのです。また、滑り終わった子が、他の子どもの滑走を応援



コーチの指導を受ける1班の子どもたち

する励ましの声が響き渡っていたのもすばらしかったです。

最後には、今年もうれしいプレゼントが……。スキースクール校長から全員にメダルとチョコレートのプレゼントがありました。

今年のスローガンは『好気～楽笑(すきーらくしょう)』。子どもたちはそれに3つのめあてを加えました。

- 1 スキーを好きになり、楽しく学ぼう。
- 2 笑顔で元気にあいさつをしよう。
- 3 みんなで協力して、楽しく過ごそう。

これらのめあてを達成するため、実行委員会やピカレク係、食事・保健・入浴係が何度も話し合いをもち、準備してきました。レストランでの子どもたちの食事の様子、夕食後におこなったレク、反省会の様子を興味深げにみていたホテルの方がたからは称賛の言葉が聞かれました。さすがはチューリッヒ日本人学校の子どもたちです。

1月15日(月)におこなった「ふりかえり集会」での感想を掲載いたします。

- ・スキーでジャンプができるようになった。食事のかたづけをがんばった。
- ・先生の話をよく聞き、挨拶がしっかりできた。皿ならべもよくできた。
- ・ターンができるようになってうれしかった。あいさつやかたづけをがんばった。
- ・スキーがいちばん好きなスポーツになった。あいさつがしっかりできた。
- ・あいさつがしっかりできた。もっとスキーの練習をしたい。
- ・回転競技でうまくターンできたのがうれしかった。みんなも上手でびっくり。あいさつも日本語、ドイツ語ですることができた。みんなの前で大きな声で話せた。
- ・去年よりもコーチの話を聞いたので、より上達した。みんながレクを楽しんでくれたので、係としてうれしかった。
- ・3日間で正しいボーゲンのしかたなどいろいろなことが学べた。途中から班の仲間が増えて楽しく講習を受けることができた。
- ・講習でパラレルストップが上達した。夜はみんなでトランプをして盛り上がり、ときどきしたのが楽しかった。
- ・転ぶと痛いからいやだと思っていたが、コーチの指導で楽しくなった。夜はカードゲームで楽しかった。
- ・講習でパラレルターンができるようになった。ホテルの食事では、シュニッツェルやクロワッサンなどおいしいものを食べることもできた。
- ・久しぶりにスキーをやって楽しかった。1日しか参加できずに残念、体調管理をしっかりして臨みたい。
- ・2日目に体調を崩し、残念なことになってしまった。係活動も1日だけとなったが、がんばっておこなうことができた。
- ・最初はどうなるかと思ったが、今ではスキーが大好きになった。あいさつもみんなとの協力もしっかりでき、このメンバーでスキー教室ができてよかった。



メダルを掲げて、はいポーズ!